

春風秋霜

4月号

令和3年4月1日
島田市教育委員会より
教育長 濱田和彦

春風をもって人に接し、秋霜をもって自らを慎む 佐藤一斎

1 令和3年度のスタートにあたって

人事異動によって新しい職員を迎え、新しい分掌が決まり、いよいよ新学期がスタートします。今年度、島田市に着任した皆様には、島田市の教育の理解と充実のためにご尽力をお願いいたします。

教育課程の編成作業は、令和3年度島田市教育委員会の方針及び保護者や子供たち等からのアンケートを基に行われたと思います。また、教育課程は、学校教育目標を達成するために作成された各学校の教育の根幹を貫くものです。教育課程に込めた思いを全職員で共有してほしいと思います。

令和3年度は、新学習指導要領を遵守した教育、GIGAスクールの推進、小学校での教科担任制への準備、コミュニティ・スクールの定着など、様々な対応が求められる年です。更に、新型コロナウイルス感染症の終息が未だ見えないため、本年度の教育課程が計画通りに進むのか、不安が残ります。昨年度のような長期の休業や教育課程の再編成はないと思いますが、柔軟な学校運営が求められるという覚悟は必要だと思います。

どんな時でも子供中心に教職員間の意思疎通を良くし、学校運営協議会や保護者との情報共有を大切に、本年度の学校運営をお願いします。

2 GIGAスクール構想に向けて

3月初旬にはすべての学校に端末の配備と校内ネットワークの整備が完了しました。各校で利用が進んでいるものと思います。今ある機器を有効に活用し、ICT機器を活用した授業の可能性を追求してほしいと思います。

機器は、使い方によって可能性が大きく広がります。教科書のQRコードから情報を得る、子供たちの考えを把握する、個に応じたドリル学習をする、発言の根拠を映像で示すなど、工夫次第で様々な使い方ができます。個別最適な学びや協働的な学びが大きく広がります。

しかし、教師によって対応に個人差が出ることも事実だと思います。市教委指定の「夢育・地育推進研究中間報告書」の中にも、ICTを活用した授業は以前に比べ多くなったが、学年や学級によって使用頻度に大きな差が見られると書かれていました。教育委員の学校訪問でも同様な話を聞くことができました。しかし、タブレットを配備した学校では、使いたい時に使えないほど予約が多いという声も聞きました。使い慣れればその可能性や有効性が分かるからでしょう。

同報告書の中には、「パソコンやタブレットを使った授業は楽しい…96.2%」というアンケート結果もありました。教師が考えるより子供のパソコンへの興味や順応性は高いと思います。中には、使い方に長けた子供もいるはずです。そのような子供をスモールティーチャーとして活用するのも一つの方法です。今後、各校での取り組みを進め、使い方を職員間で共有したり、教え合ったりすることにより、使い慣れることが大切だと思います。

3 子供の変容について

先日、私が新採から3年間担任した子供から手紙がきました。その子供は知的な障害があり、友達も少ない子供でした。その子供（現在は56歳）から40数年ぶりに突然手紙がきたのです。

驚きは手紙の中にもありました。小学校時代のことを鮮明に覚えていること、難しい漢字を丁寧に書いていること、自分の生き方をしっかり持っていることなどです。20代前半に立て続けに両親を亡くし、その悲しみから聖書の勉強を始め、聖書を読むために難しい漢字を一生懸命に覚え、今では日常で使う漢字は読み書きができるようになったということです。

障害もあり決して楽な人生を歩んだわけではなく、手紙の中に「小・中、そして今の仕事場でもいじめはあります。つらいと思うことはありますが、人を憎んだり、こちらから何かしないようにしています。」と書かれていました。

中学校でやんちゃをしていて学力も心配だった生徒が大学を卒業し、テレビでコマーシャルを流すような企業に就職した例もあります。昨年末に4000万円を超す契約を自力で成立させたと報告がありました。

これらのように、子供たちはどんな変容をするか分かりません。どの子供も大きな可能性を秘めています。教師は、子供たちに可能性を伝え続けることと、子供たちの可能性を引き出すことを大切にしたいと思えます。

肘かけ椅子

高杉 陽子 教育委員

「生まれてくれてありがとう！私の原点」

現在中学生の双子子育て奮闘中の私が、双子あるあるを交えながら、13年間を振り返ります。

2分差で誕生した兄と妹。赤ちゃんの頃は、ただただお世話の毎日がつらく、健診時に保健師さんの前で泣いたこともありました。段ボールでセルフミルク飲み器を作り、お風呂は夜でなくてもよいことに気づきました。もちろん、何でも2つずつ買います。パン好きな息子とご飯好きな娘…双子なら同じものを食べてくれと思う離乳食。丸まって寝る息子と大の字で寝る娘、でもやっぱりシンクロする寝相に癒されました。

アラフォーにもなって、公園では全力で逆上がりや鬼ごっこもしました。子育て支援センターの「ふたごちゃん、あつまれ～!!」で出会ったママ友たちは、今でも同志です。入園・入学時は、名前付けが2倍、同じ書類を2回ずつ書き、油断すると名前を書き間違えます。上靴や給食袋を入れ間違えては、子どもに文句を言われます。授業参観日は父親も出席、発表は時間差にしてもらいました。

娘は妹なので、中学3年生までPTA会員用のお便りをもらえないそうです。宿題は、一緒にやってくれれば教えるのも一度で済むのに、別々にやるので同じことを2回教えません。スマホも2台買いました。「比べない」をいちばん気にしているのは本人たちなんだろうなあと、悩むこともあります。先日娘は、友達から「以心伝心で通じるの？」と聞かれ、「通じないよ！」と答えたそうで…。そうかな？結構、息合ってると思うけど？ そんな2人に、もうすぐ身長が抜かされそうです。